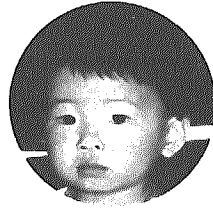


いい顔、ありがとう

●この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係(☎824-11)内線二〇二へご連絡ください。写真をさしあげます。



この味なら満点!!

独居老人への料理サービス

先月三日、間瀬地区公民館で西蒲原社会福祉事務所管内の町村ホームヘルパーや老人クラブ代表者ら五十人が、独り暮らし老人への料理サービスのため「ふるさと料理研修会」で研修と試食会を行いました。これは県が進めている「新潟ふれあい運動」の一環として実施されたもので各町村から集まった代表が、自慢のふるさと料理を披露。メニューは「手打ちうどん」「かれのい姿焼き」「イカのあえもの」など十数品。栄養のバランスと食欲をそそる盛りつけに、「おいしいわ」と好評でした。

「ハイ、大きく口を開けて」



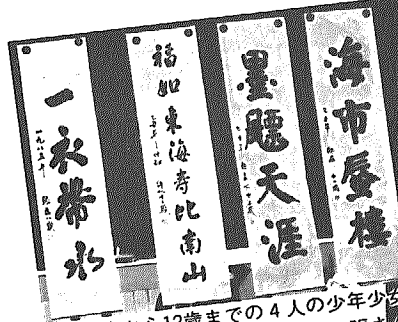
白衣の先生の前で順番に歯のフッ素洗口を受ける男子、女の子たち。先月十日に行われた二歳児のフッ素洗口風景です。子どもたちの洗口と併せ、保護者に対しては、虫歯の予防法などの指導もあり、お母さんたちの関心を集めていました。また、「むし歯半減十カ年運動」を進める県から、先月十八日、「虫歯の少ない市町村ベスト10」に本村が選ばれ(県内で五位、一・八三本)、認定証の交付を受けました。



▲生き生きスポーツ派——淡いグレーのユニホーム。日焼けした顔が雄々しく見えた。白根市の総合グラウンドで第21回新潟県壮年野球大会(常時出場者の合計年齢が450歳=平均50歳という規定がある)がこのほど開かれ、300人の選手が持ち前の闘志と、ベテランらしいテクニックを駆使して熱戦を展開。昨年からの出場の岩室壮年野球クラブ(後藤昇二監督・クラブ員19人)が、伝統チームを抑えて初の優勝を飾りました。



▲体に注意して長生きを——先月十五日の敬老の日を前に、金子村長、藍沢村議会議長らが13日、村内の90歳以上の高齢者宅を訪問しました。この日、村長らは和納3区の横山クニさん(=写真)ら8人を表敬訪問。持参した長寿の祝い品(毛布たんぜん)と賞状を手渡し「おばあちゃん、元気ですね。体に十分注意してください」とお祝いの言葉をかけ、長寿を祝いました。



▲8歳から12歳までの4人の少年少女書道交流団員の作品—左から張さん(8歳)、許さん(12歳)、趙さん(12歳)、鄭さん(11歳)



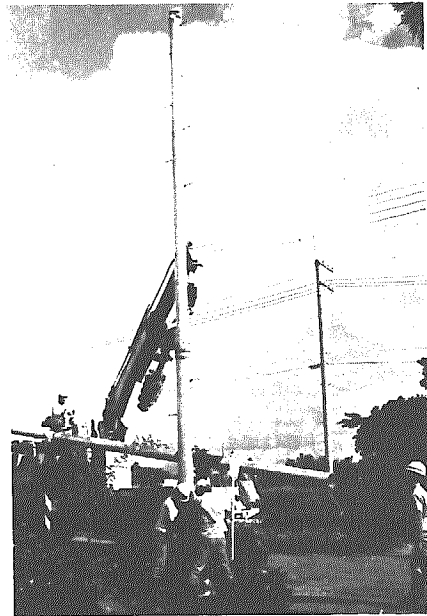
(写真提供) 間瀬小学校

小さな使節団

「友好の旅」

中国少年少女書道交流団、間小来校

先月十三日から新潟市で開かれた「85新潟中国展」に出席するため来港中の黒竜江省少年少女書道交流団(何守文団長)の一行が、十八日、間瀬小学校を訪れました。団員一人ひとりが紹介されたあと、斉藤間瀬小校長が「ようこそおいでくださいました。心から歓迎します」とあいさつ。交流団を代表して、何団長が「私たちにとてもいい勉強になります」と述べました。このあと、少年少女書道交流団の八歳から十二歳までの四人の「書家」が、早速腕前を披露。力強い筆致で「一衣帯水」「墨颯天涯」など一気に入に書き上げ、かわいい親善大使ぶりを見せました。



早く建つんだね

防災無線用鉄柱建て急ピッチ

今年度の重点施策の一つとして事業が進められている「消防防災無線通信施設」の野外受信装置(トランペット・スピーカー)を取り付ける鉄柱が、先月から村内40か所で急ピッチで進められています。特殊車両でスピーディに建てられる鉄柱は一本の所要時間が約20分。今後基礎コンクリートが打ち込まれ高さも完成時には約15メートル、電柱の約1.3倍の高さとなります。

よろしくね...

トランスポ'85



「トランスポ'85」が開かれますが、この催しを広く知ってもらうため、トランスポギヤルの田浦明美さん、須田修子さんが先月九日、役場を訪れ、金子村長を表敬訪問しました。キャンペーンギャルは青と白のユニホーム姿で村に協力を要請。金子村長は「出来る限りのお手伝いをします」とこたえ、関係者の労をねぎらいました。その後、一行は役場各課を回って愛きようを振りまき、「トランスポをよろしく」と呼びかけました。

開越自動車道の全線開通(今月二日)を記念して新潟市で、